

大学の世界展開力強化事業（平成24年度選定）事後評価結果

大 学 名	千葉大学
整理番号	Ⅱ-1
事 業 名	ツイン型学生派遣プログラム（ツインクル）

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

（総括評価） <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">S</div>	取組状況、目標の達成状況ともに事業計画を上回る成果をあげており、事業目的は十分に実現された。
（コメント） 本事業は、教育系の学生と理系の学生が協働して SEND プログラムに参加することにより、グローバルな教育能力と視点を持つ教育者と、教育マインドを持つグローバルな研究者を育成・開発するという意欲的な取組として実施された事業である。 事業展開では、プログラムの実施によって、連携する ASEAN 諸国の小・中・高等学校の学生の日本理解と関心が高まり、留学への意欲に繋がる好循環が効果的に構築されている。受け入れた学生のほぼ全員が千葉大学へ更なる留学希望を示している点は、魅力ある取組であることの確たる証左と認められ、我が国と ASEAN 諸国の架け橋となる人材育成を行う事業として高く評価する。また、充実したツインクルオフィス体制やWメンターによる指導制度によって質の保証がなされている点に加え、具体的で実効的なカリキュラムが十分に練られ、新たな教育プログラムの構築も精力的に進められた。更に、相手大学及び高校教員による指導・評価システムを開発したことにより、派遣先大学の教員による評価・単位認定を可能とする体制の確立と実績が認められる。 このほかにも、相手大学及び高校関係者との定期的なツインクルコンソーシアム会議体制を確立し、事業の円滑な遂行に努めていることは、今後の継続性を担保する点で評価できる。学生の交流数は、派遣は目標をやや下回ったものの、派遣・受入ともに充実した学生交流が行われており、派遣学生のサポートを受入学生が担うなど、双方の学生間による効果的な支援体制が整備されていることによって、質・量ともに十分な成果を挙げている。また、インドネシア及びタイにおいては関連省庁の支援を得るなど、各種関係機関と綿密な関係を構築している。 一方で、外国語カスタンダードは全体の平均点数では目標達成に至らなかったことから、引き続き注力されることが望まれる。 最後に、千葉大学の中長期的なビジョンを着実に実行し、ツインクルプログラムの全国的な展開と、初等中等教育を通じた教育と研究の両面からの訓練及び協調による国際交流活動がグローバルな研究者の育成にもたらした有効性について検証することを期待する。	